

---

## (5) 観光戦略のスローガン

具体的な事業展開を行う際には、関係者等が共通の目的をもって一丸となって事業を進めていく。多くの観光地では、「観光は一部の観光事業者のためのもの」といった誤解も生まれている。多くの市民や事業者が、それぞれの立場で観光に係わるためには、観光振興の共通のスローガンを設定して、わかりやすい言葉で酒田市の観光に対する市民理解と協働を求めることが重要である。

特に、観光振興の施策実施のためには市民が酒田市の魅力・観光資源を理解し、観光振興に係わってもらうため、観光関係者等と市民が協働しながら進めていく体制づくりが求められている。

そこで、次のような酒田市の中期観光戦略の観光振興スローガンを設定する。

**広めよう！ “酒田自慢” 増やそう！ “酒田ファン”**

これは、市民一人ひとりが日ごろから感じている酒田の“良いところ”を再確認し、これを来訪者や友人等に対して自慢できるレベルまで高めることによって、来訪動機を促し、同時に市民の地域に対する誇りを醸成するものである。

わかりやすくいえば、市民が愛している酒田の街の自慢できるところを、来訪者等に熱く語ることによって、酒田ファンを増やしていこうという、“酒田のファンづくり運動”である。

もとより、市民一人ひとりにとっての“酒田自慢”はまったく違い、同時に市民が真に感じている地域の“ウリ”はそれぞれ異なっている。しかし、これらを一一つつ検証し観光振興に結び付けていけば、酒田市観光の核心を突いた“観光のタネ”を見出していくことができる。